

●アンケート・利用実態調査結果概要

1. アンケート回収状況

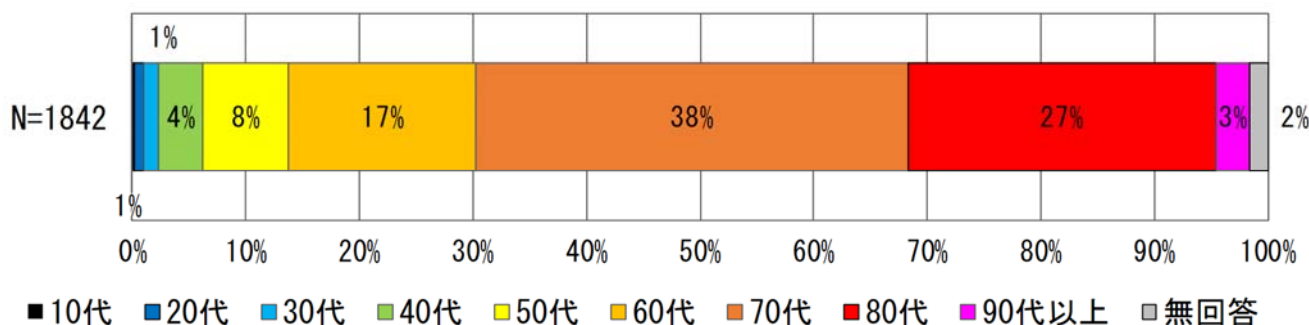
- ・市民アンケートの回収率は 52.6%と高い回収率であった。
- ・バス利用者アンケートは、配布数に対する回収率は 36.1%となり、OD調査についてはヒアリング形式で行ったため、利用者（平日・休日合計）に対する 98.8%と高い回収状況であった。

調査項目		配布数 (枚)	回収数 (枚)	回収率 (%)
市民アンケート【A】		3,500	1,842	52.6%
バスOD調査【B】	東海市循環バス	1,276	1,255	98.4%
	知多バス	827	822	99.4%
	合計	2,103	2,077	98.8%
バス利用者 アンケート【C】	東海市循環バス	730	275	37.7%
	知多バス	440	147	33.4%
	合計	1,170	422	36.1%

2. 市民アンケート調査【A】（8月5日発送、市民3,500人対象）

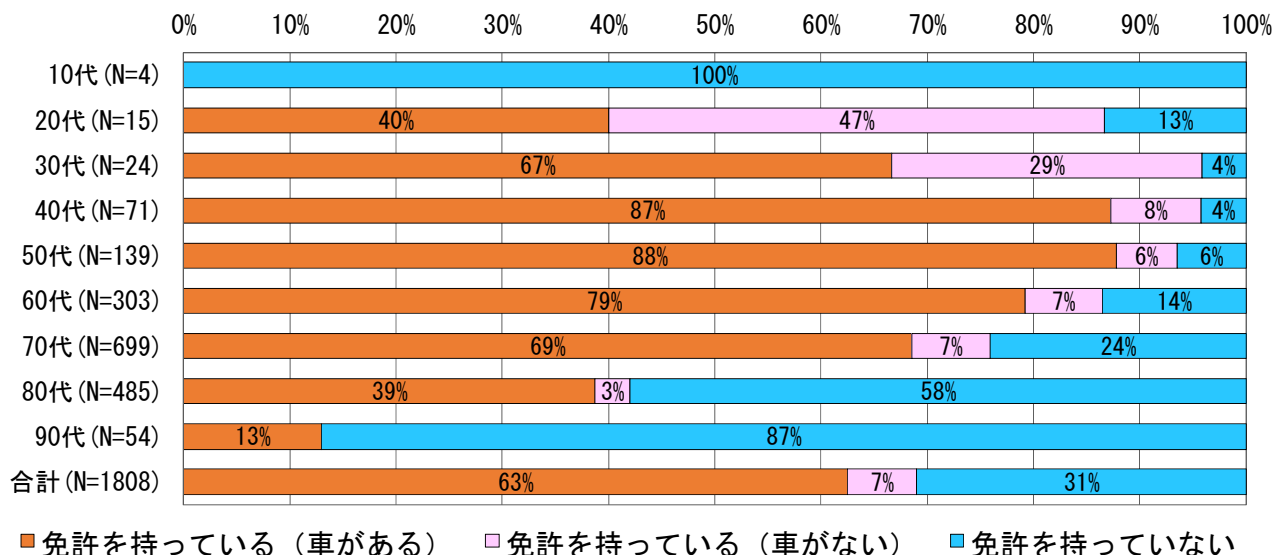
(1) 年齢構成

- ・回答者の約85%が60歳以上であった。



(2) 運転免許証の保有状況（無回答除く）

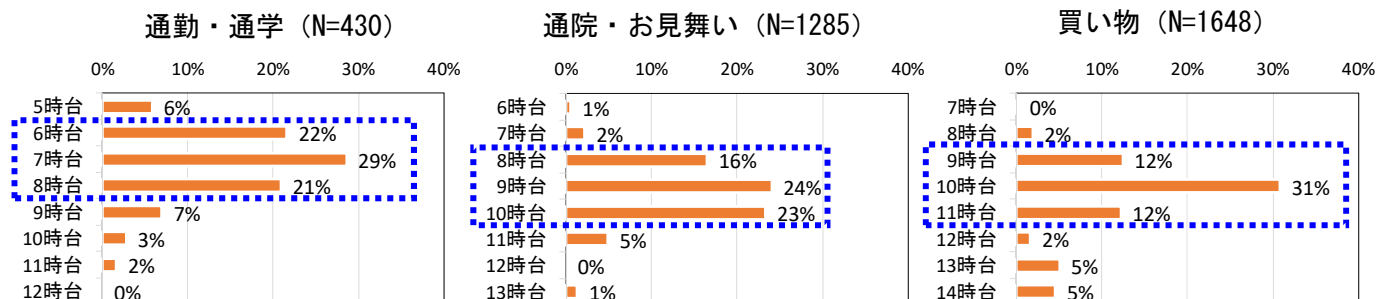
- ・年齢層が高くなるほど、運転免許証の保有率が低くなる。
- ・20～30歳代では、運転免許証は持っていますが、車の保有率が低くなっている。



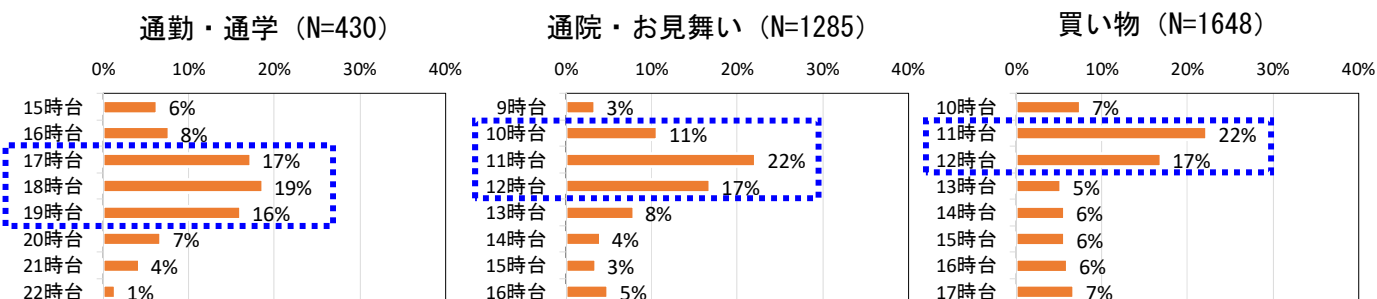
(3) 移動目的別の出発・帰宅時間帯

- ・通勤・通学目的のピークは朝・夕にあるが、通院・お見舞い、買い物目的は通院先や買い物先が開き始める9～10時が多く、帰宅のピークは午前11時と午前に集中している。

【出発時間帯】

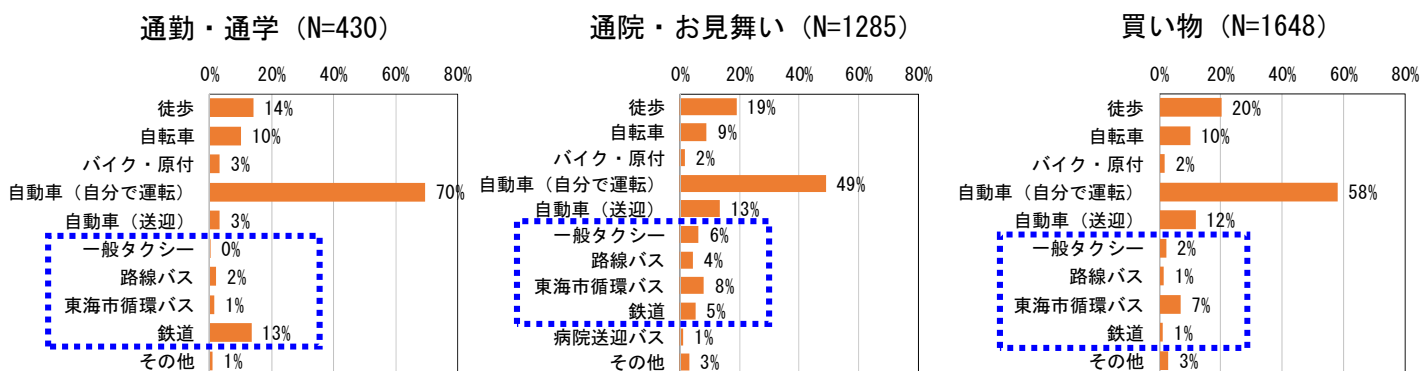


【帰宅時間帯】

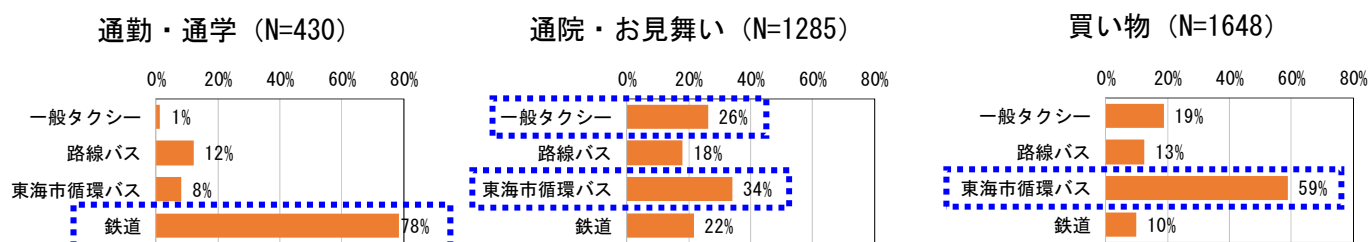


(4) 目的地までの交通手段

- ・いずれの移動目的においても、自動車（自分で運転）の利用割合が多く、公共交通利用は少なくなっている。

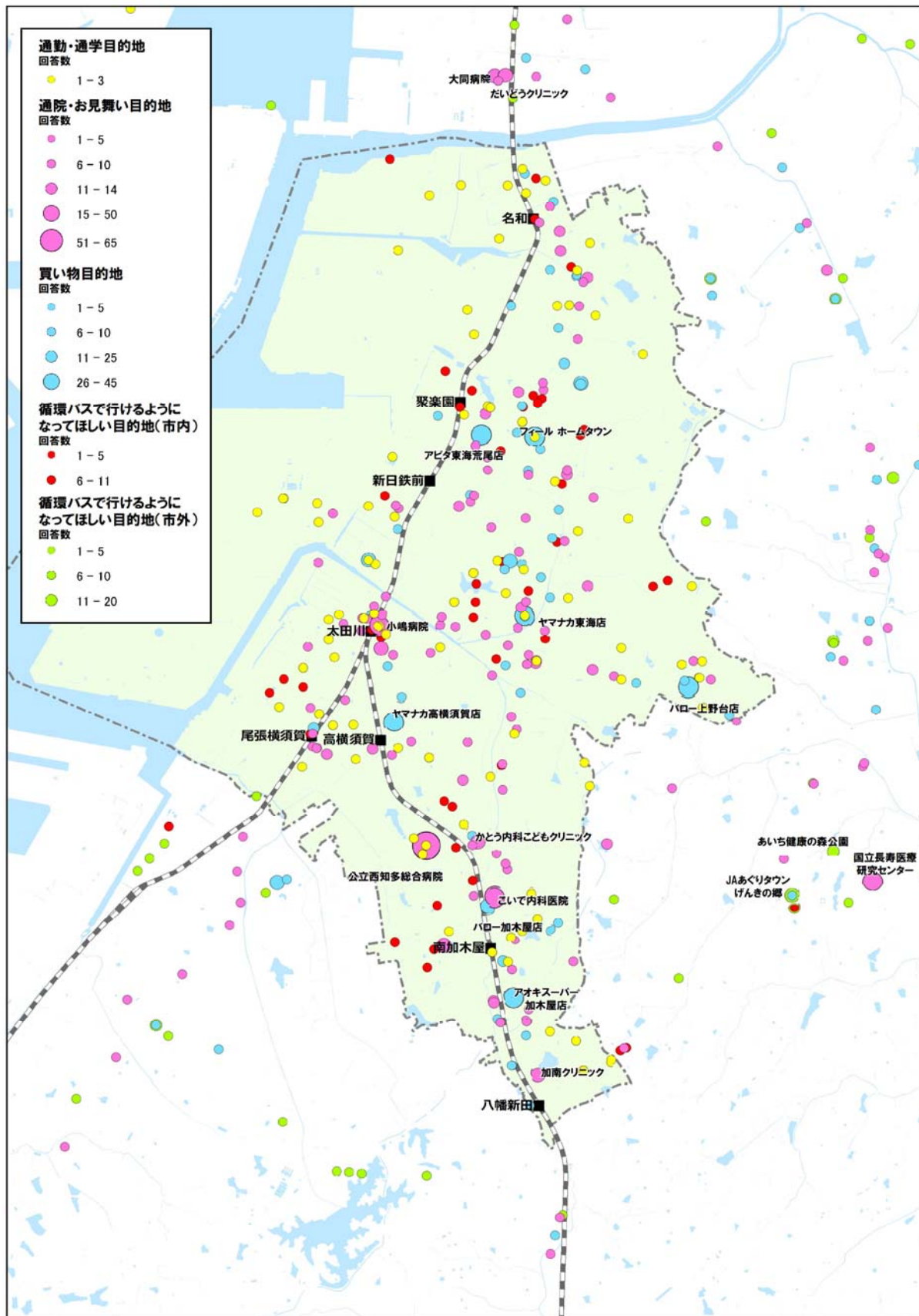


- ・公共交通利用者のみ抽出すると、通勤・通学は鉄道、通院・お見舞いは東海市循環バスと一般タクシー、買い物は東海市循環バスの利用が多くなっている。

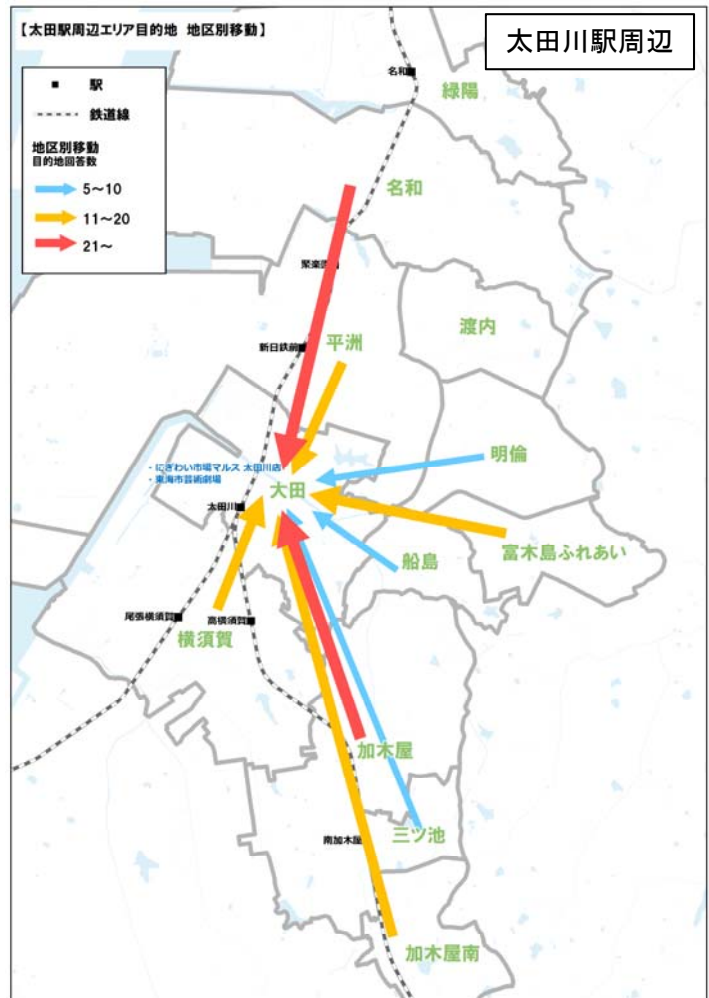
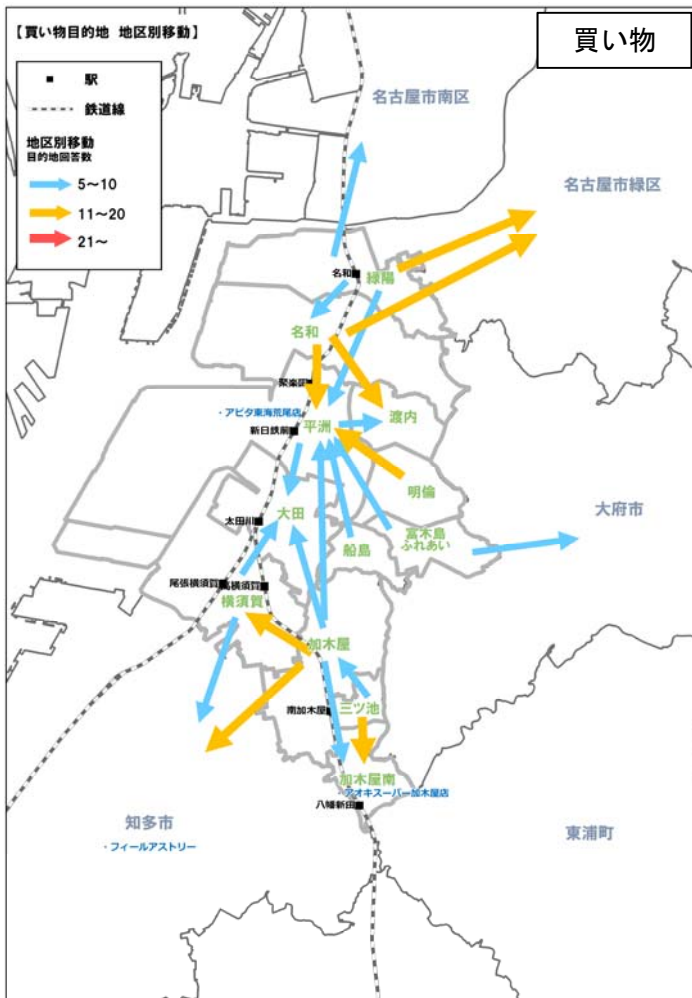
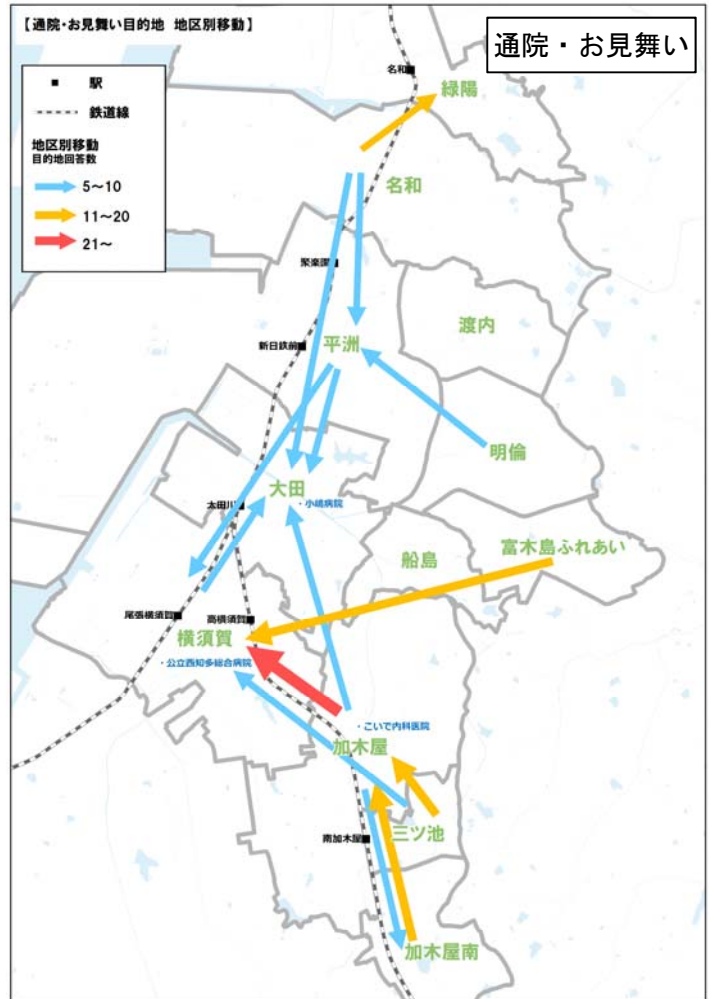
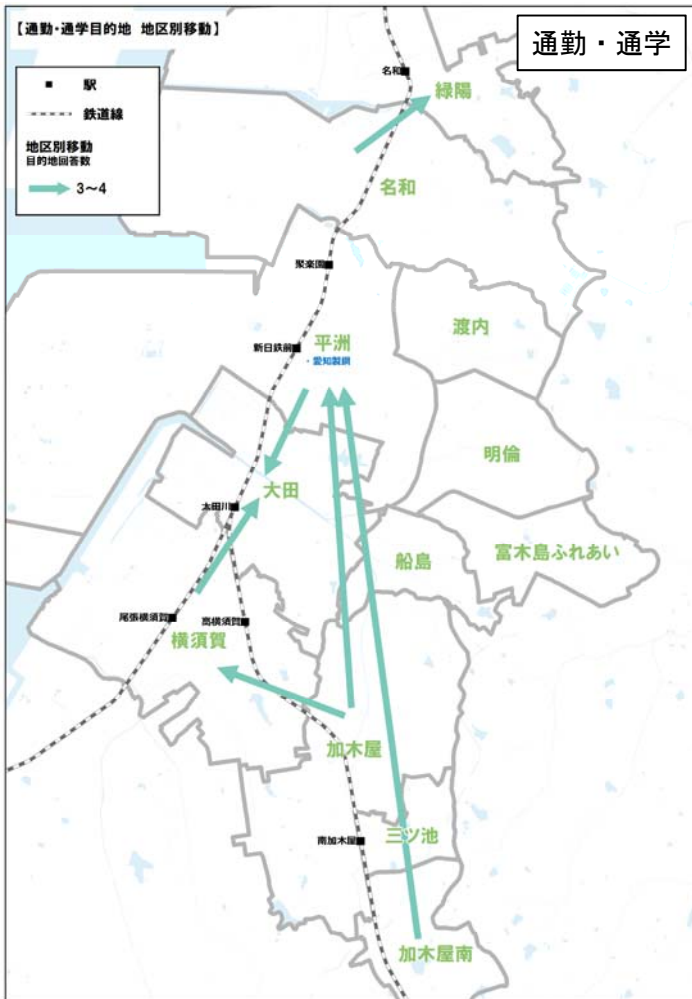


(4) 移動目的別の行き先

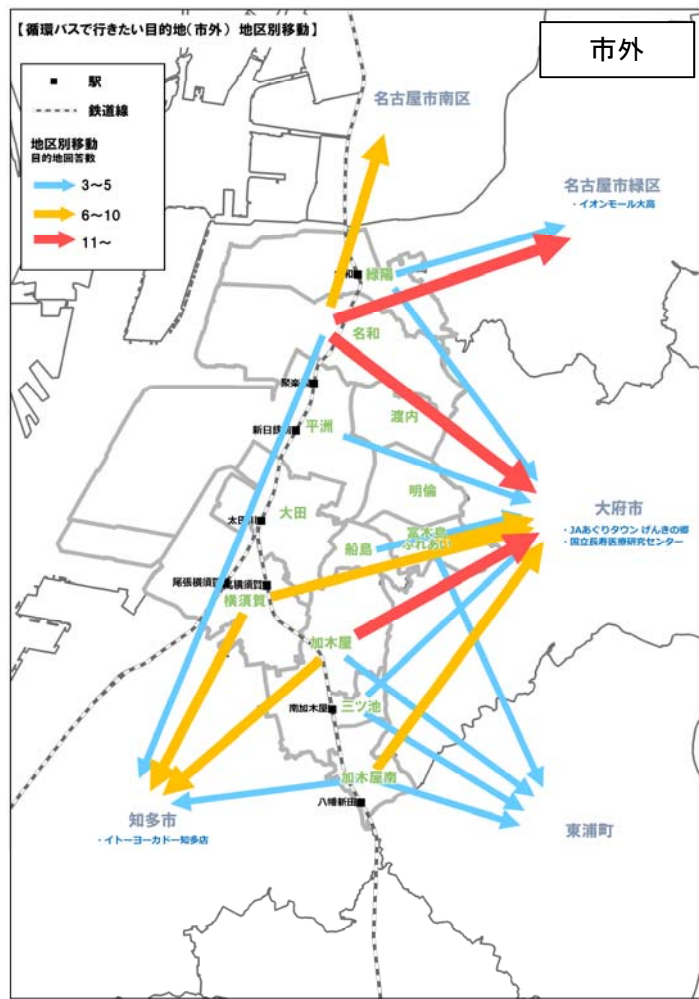
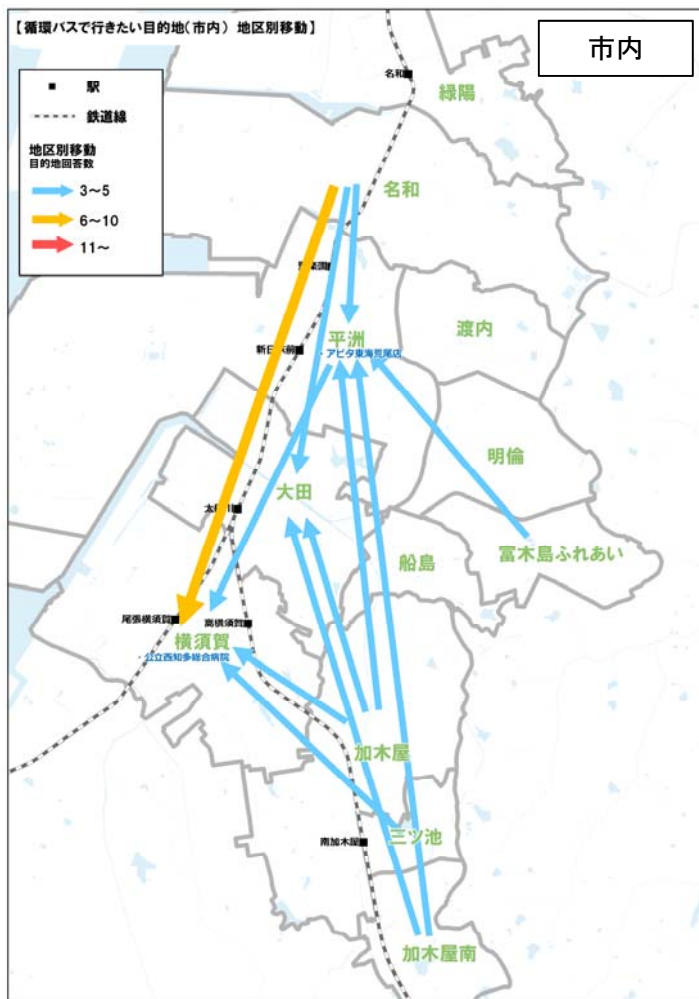
- ・ 日常生活で行く通院・買い物先は、市内の主要病院・主要店舗で目立つが、回答数が少ないものも含めると、駅周辺や鉄道沿線とその東側の全体にわたって点在している。
- ・ 地区間の移動（次頁参照）をみると、やや南北方向の移動の多さが目立つが、太田川駅方面を始め、東西方向の移動も鉄道沿線地区との鉄道沿線から離れた地区の間でみられる。



移動目的別の主な移動方向



循環バスで行きたい目的地の移動方向

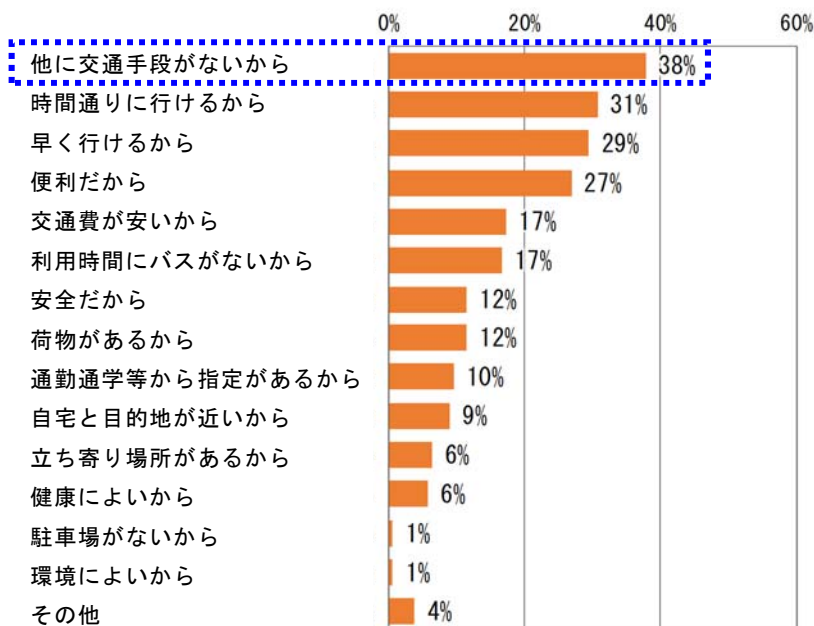


※矢印は往路データを表示

(6) 目的地までの交通手段を選ぶ理由：公共交通利用者のみ抽出

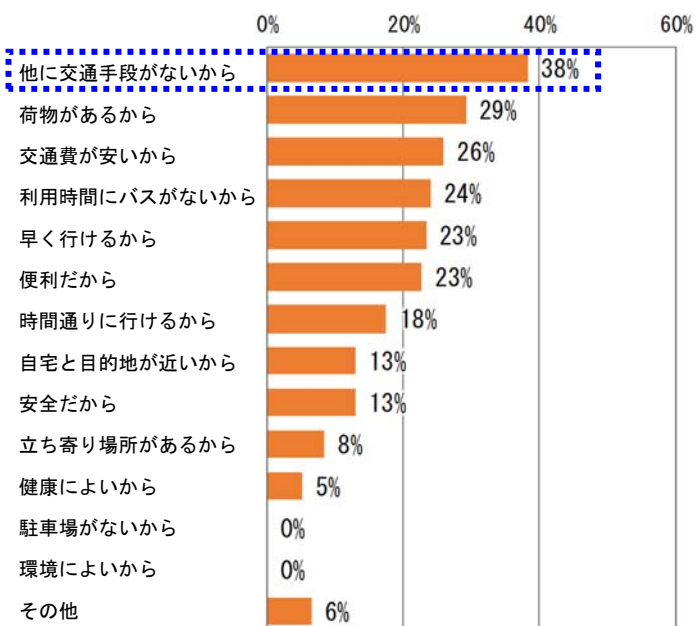
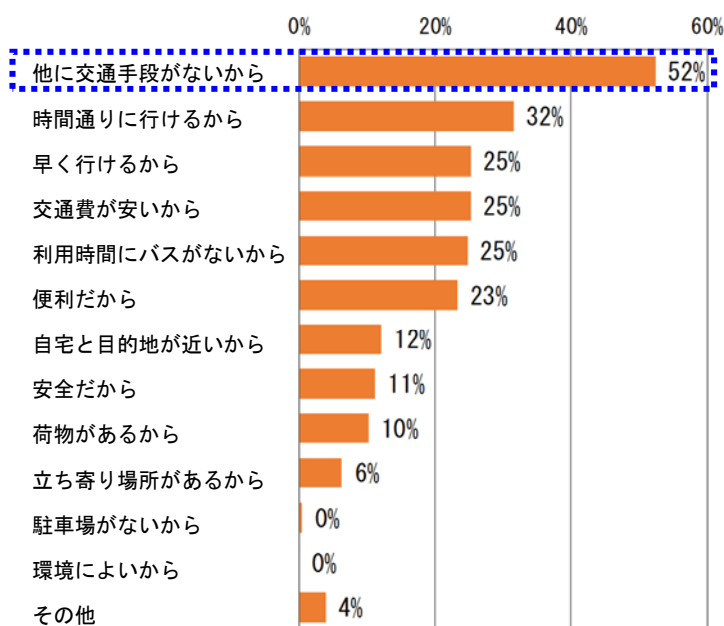
- ・目的地までの交通手段は自動車（自分で運転）利用が多いため、ここでは公共交通利用者を抽出した。
- ・公共交通利用者は、いずれの目的も「他に交通手段がないから」が最も多く、公共交通での移動に頼っている状況と推察される。

通勤・通学 (N=156)



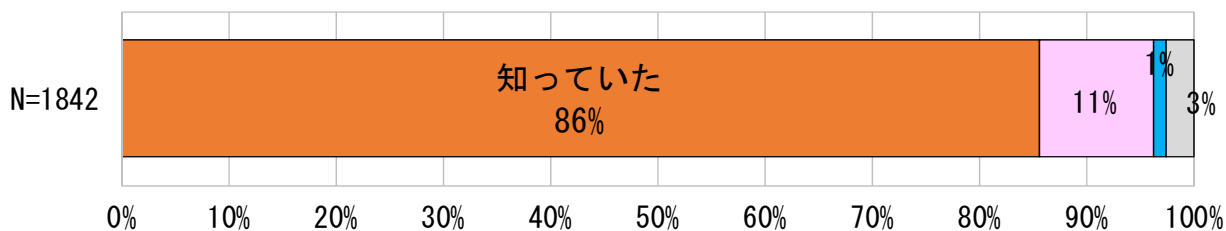
通院・お見舞い (N=206)

買い物 (N=154)



(7) 東海市循環バスの認知度

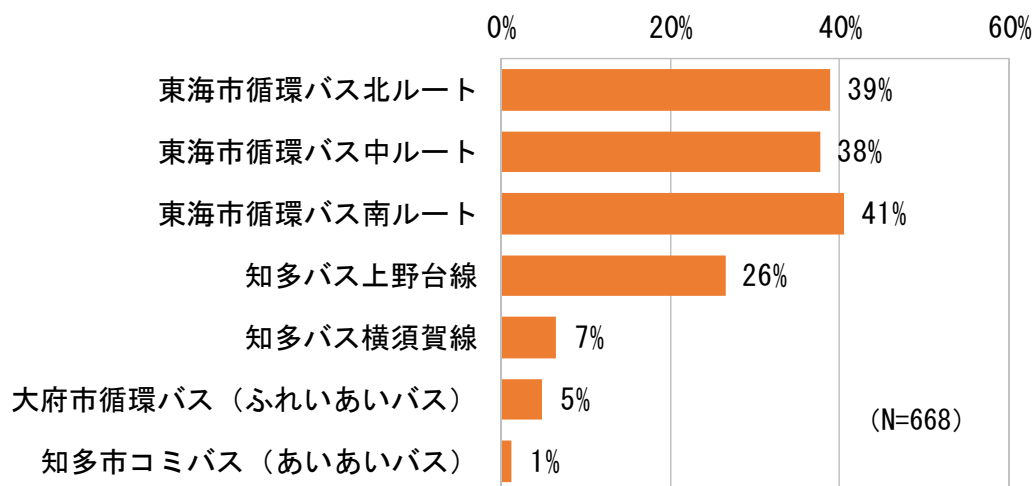
・東海市循環バスを知っていた割合 **86%** と多く、認知度は高い。



■知っていた □聞いたことはあるが、詳しくは知らない ■全く知らない □無回答

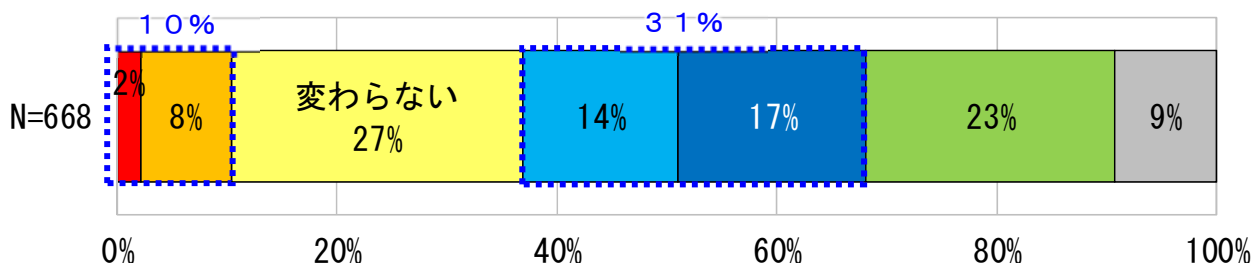
(8) 利用したことがあるバス路線：利用者のみ抽出

・利用したことがあるバス路線は、東海市循環バスは各路線の利用割合は同程度で高く、知多バスは2路線のうち、上野台線の利用割合が高くなっている。



(9) 令和2年10月以前と比べたバスでの移動利便性の変化：バスを利用したことがある方

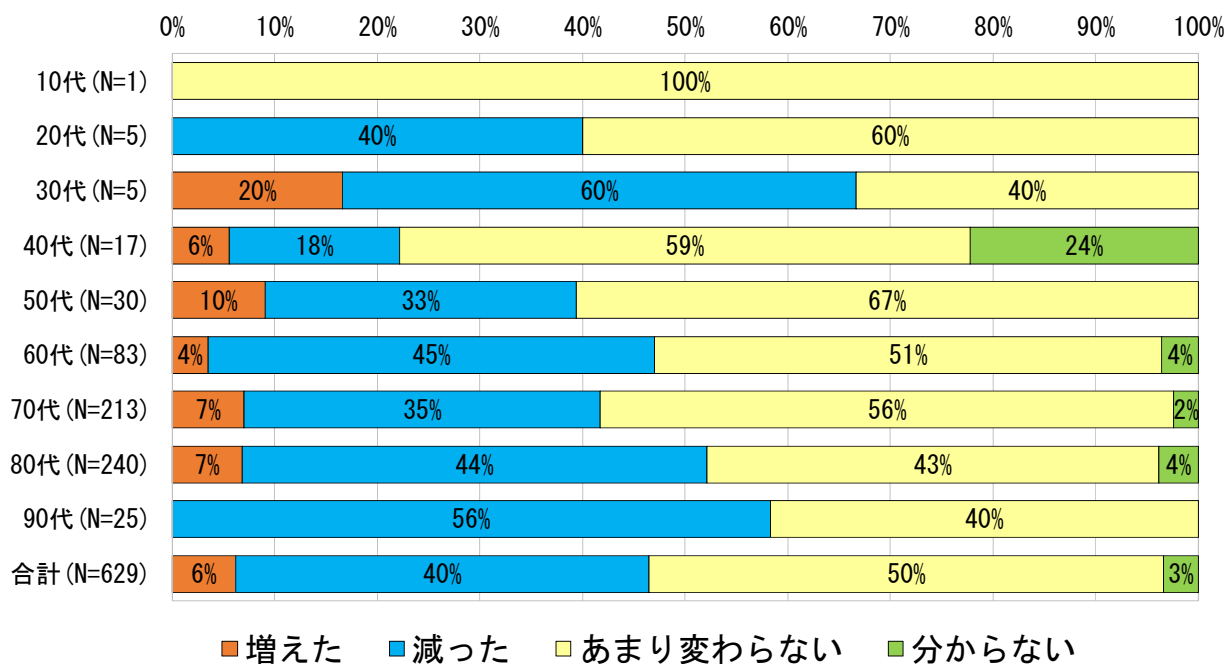
・「とても便利になった **2%**」「少し便利になった **8%**」の合計 **10%** よりも、「少し不便になった **14%**」「とても不便になった **17%**」の合計 **31%** の割合が高くなっている。



■とても便利になった ■少し便利になった □変わらない
 ■少し不便になった ■とても不便になった ■分からない
 □無回答

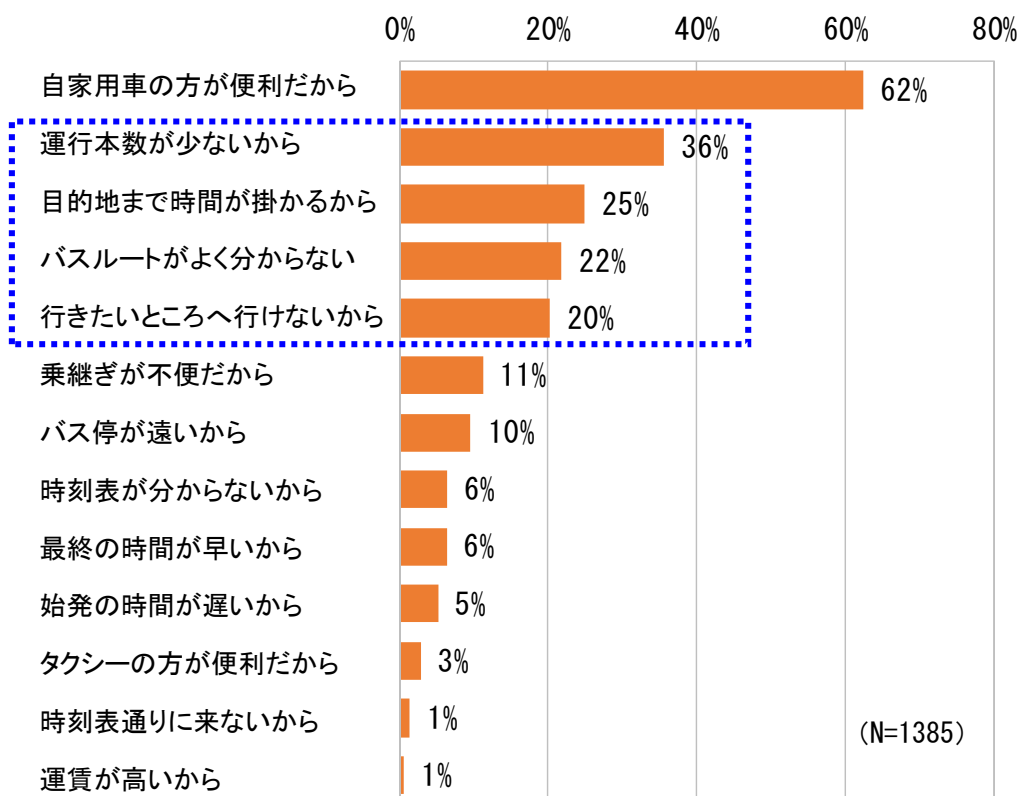
(10) 令和2年10月以降の外出機会の変化：バスを利用したことがある方（無回答除く）

・全体的にみて「減った■」の割合の多さが目立ち、20～30歳代の若年層や、高齢者層ほど、「減った■」の割合が高い傾向にある。



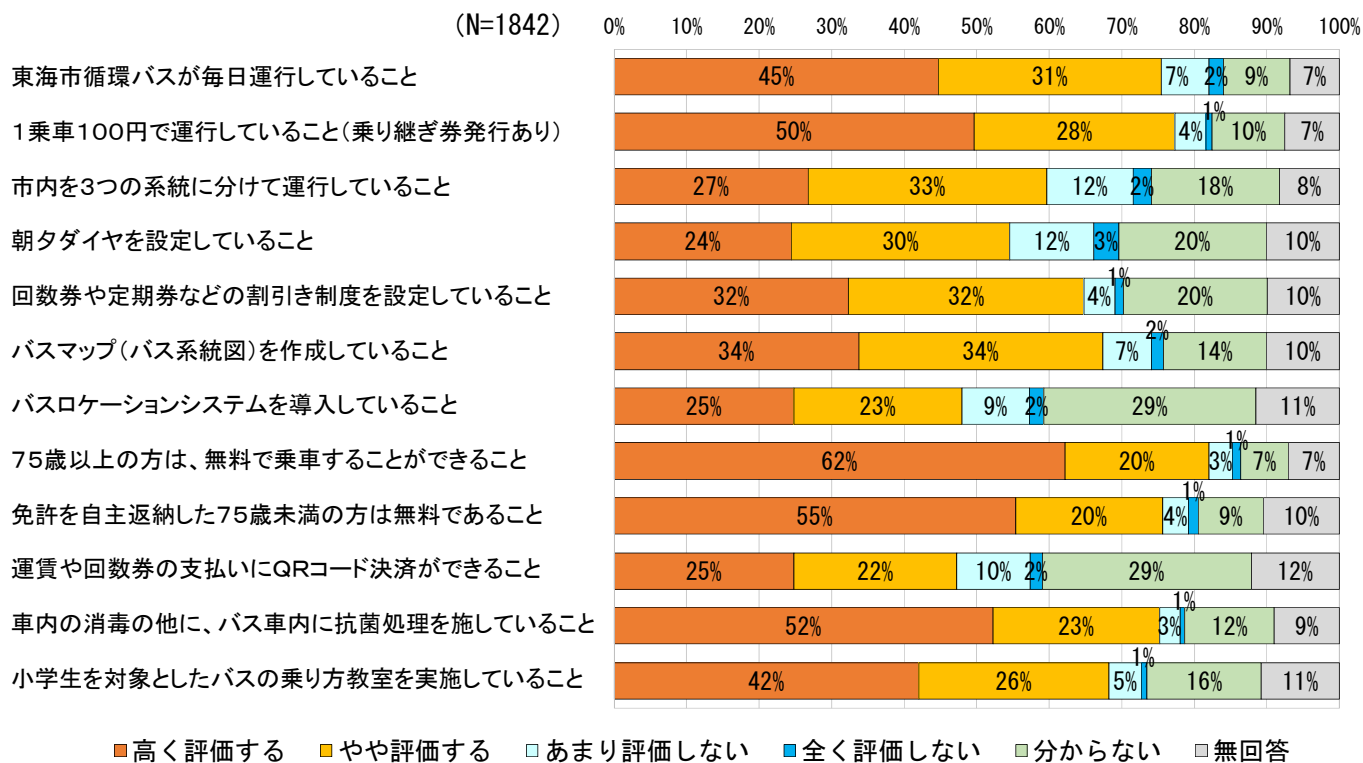
(11) バスを不便と感じる理由

・「自家用車の方が便利だから」を除くと、ルート、運行本数、所要時間などのバスのサービス水準に関わる理由の割合の高さが目立つほか、「バスがどのようなルートで走行しているか知らないから」の情報提供に関わる理由の割合も高くなっている。

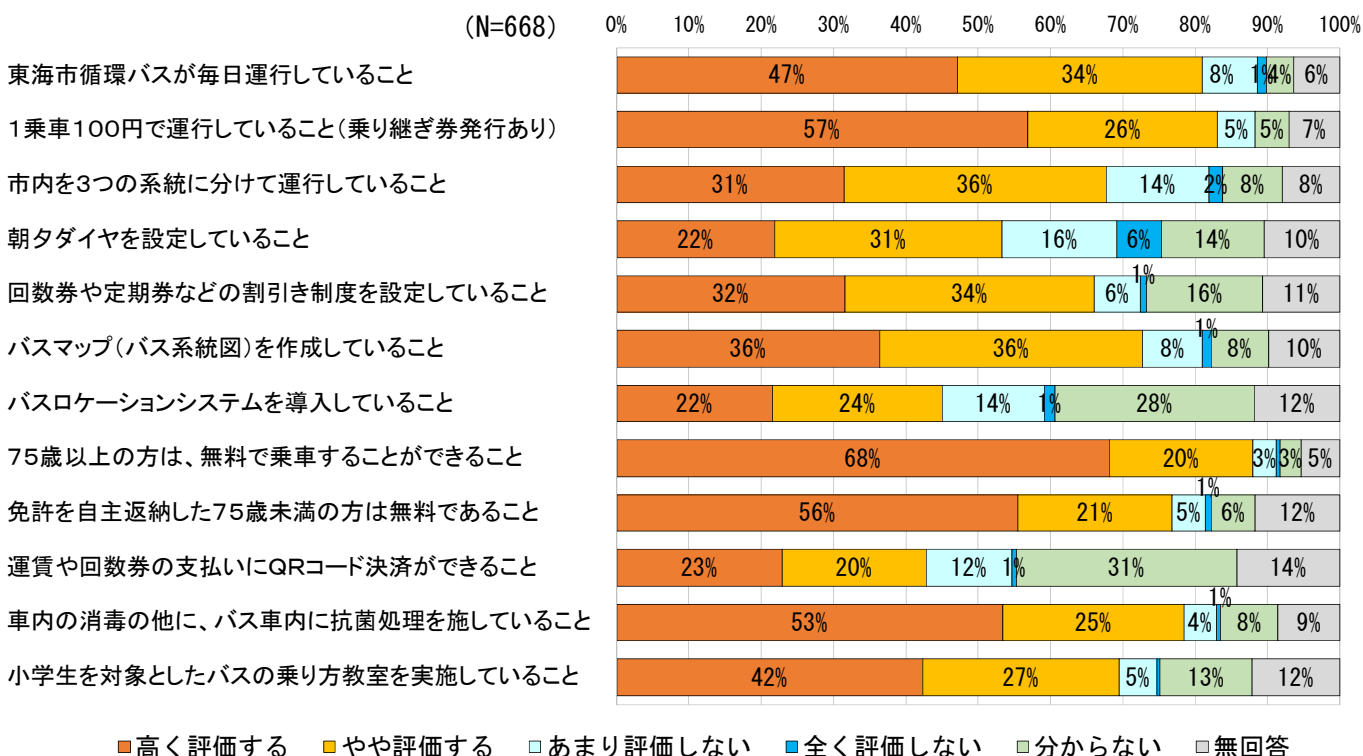


(12) 公共交通活性化のための取り組みの評価

- ・全体的にみて「高く評価する■」「やや評価する■」の割合が高くなっている。
- ・そのような中「あまり評価しない■」「全く評価しない■」を合わせた割合が10%を超える項目は、「市内を3つの系統（北・中・南）に分けて運行していること」「朝夕ダイヤを設定していること」「バスロケーションシステムを導入していること」「QRコード決済を導入していること」となっている。

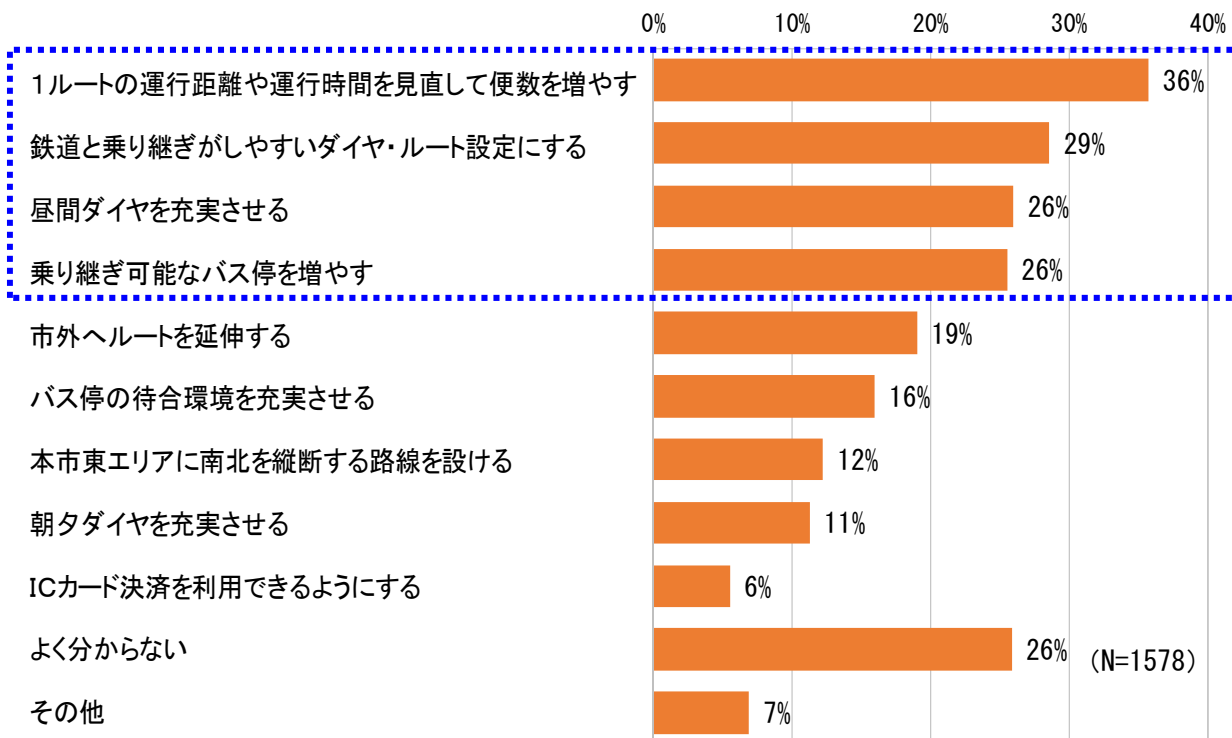


設問7-2でバスを利用したことがあると回答した方を抽出

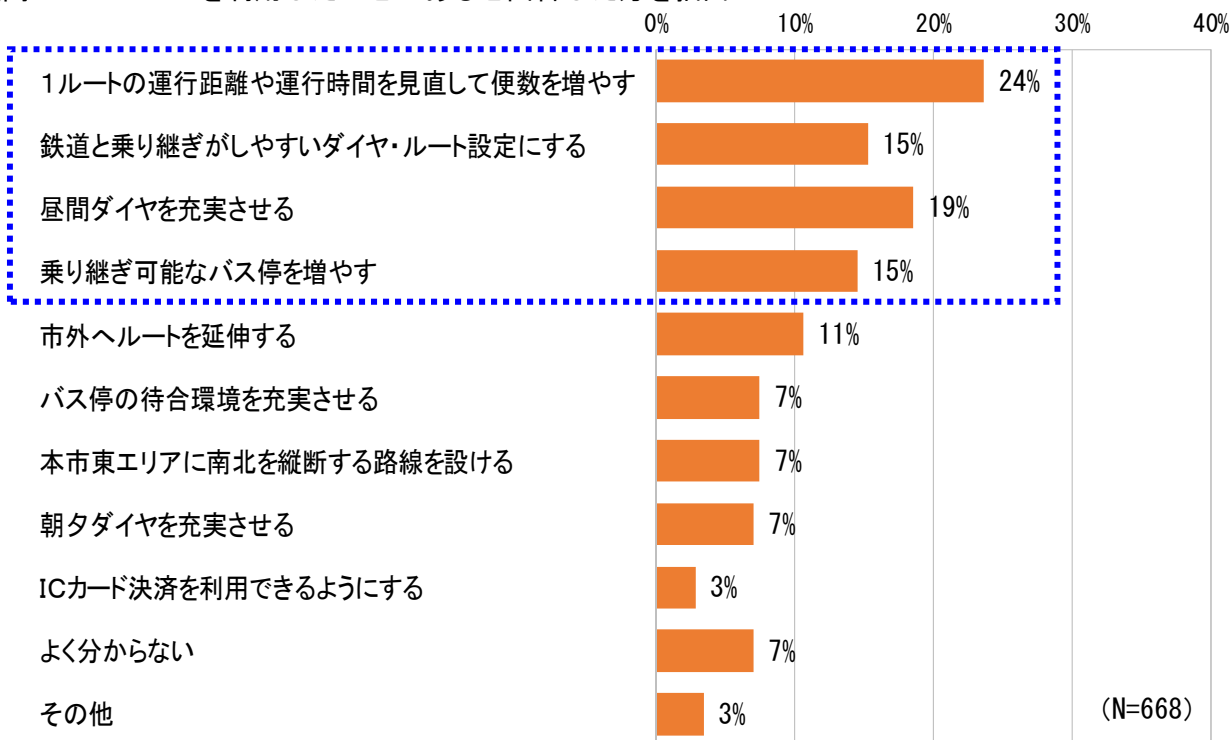


(13) バスを利用しやすくするために必要と思う工夫

・バスを利用しやすくするために必要と思う工夫で割合が高い項目は、「1ルートの運行距離や運行時間を見直して便数を増やす」「鉄道と乗り継ぎがしやすいダイヤ・ルート設定にする」「昼間ダイヤを充実させる」「乗り継ぎ可能なバス停を増やす」となっている。

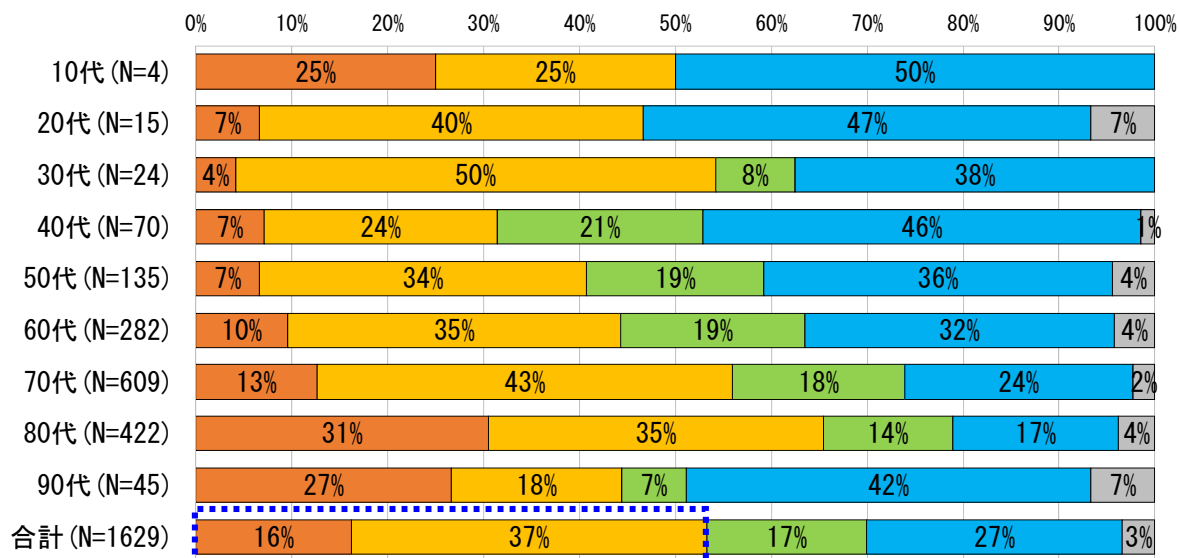


設問7-2でバスを利用したことがあると回答した方を抽出



(14) バスの必要性 (無回答除く)

- ・全体合計では、バスを利用及び利用できる環境にある方によるバスを必要と考える割合は53%と半数を占める。
- ・年齢別では、バスを必要と考える割合が高いのは、10～30歳代の若年層と、70～80歳代の高齢者層で目立っている。

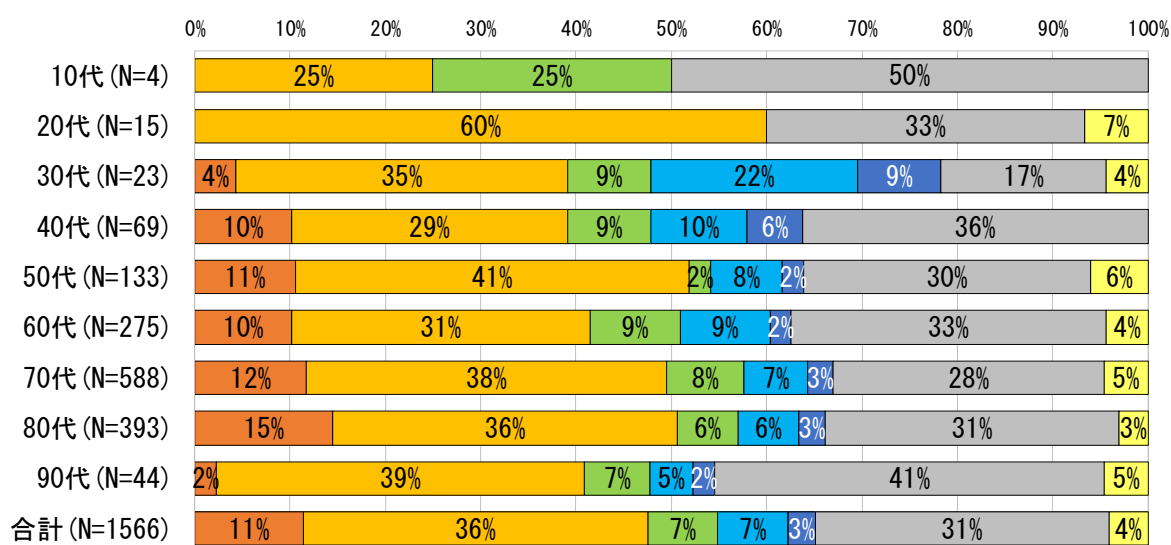


53%

- 今利用しており、今後も利用するため必要
- 今は利用していないが、利用できる環境にあり、条件次第で利用するため必要
- 今は利用できる環境にないが、条件を整えば利用するため必要
- 今のところ利用する予定はない
- 分からない

(15) 東海市循環バスのサービス向上のための公費のあり方 (無回答除く)

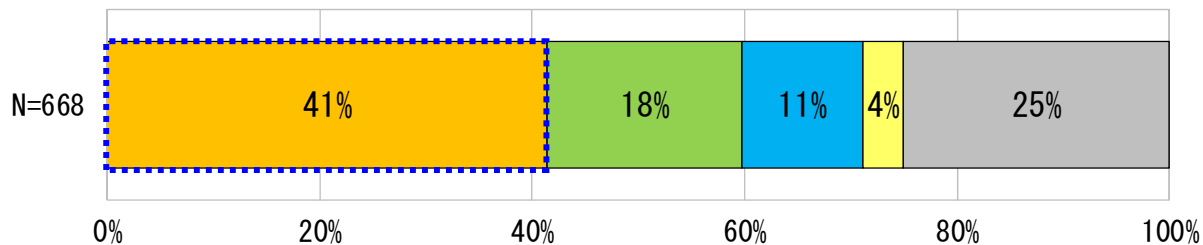
- ・ほぼ全ての年齢層で「公費及び利用者の負担は現状並みとすべき」の割合が最も高くなっている。



- 公費及び利用者の負担を増やすべき
- 公費及び利用者の負担は現状並みとすべき
- 公費の負担のみ増やすべき
- 利用者の負担のみ増やすべき
- 費用はすべて利用者が負担して、公費の負担をやめるべき
- よく分からない
- その他

(16) 今後の東海市循環バスの運行について：公共交通利用者のみ抽出

- ・全体合計では、「現状のルート（北・中・南）編成のままが良い」の割合が最も高く、次いで「中規模循環（5地区程度）それぞれで運行するルート編成にする」の割合が高くなっている。



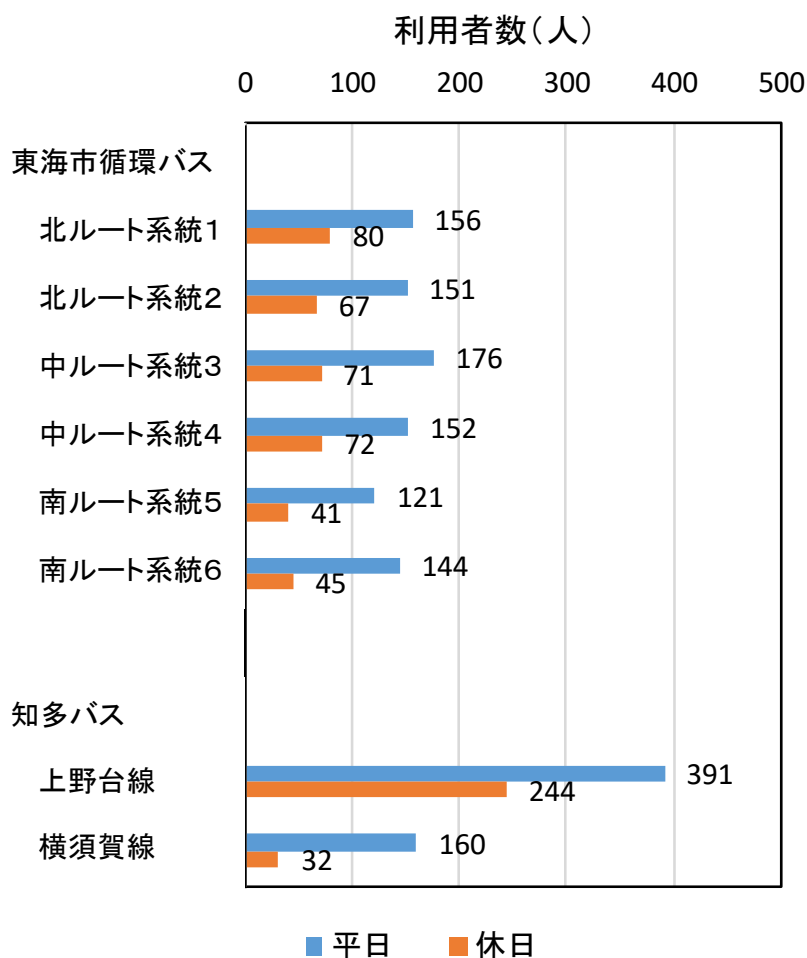
- 現状のルート（北・中・南）編成のままが良い
- 中規模循環（5地区程度）それぞれで運行するルート編成にする
- 小規模循環（南北縦断ルート+6地区程度）それぞれで運行するルート編成にする
- その他（わかりやすくしてほしい、現状のルート+別ルートの追加等）
- 無回答

3. バスの利用状況（OD調査）【B】（9月18日、9月27日実施）

（1）路線ごとの利用状況

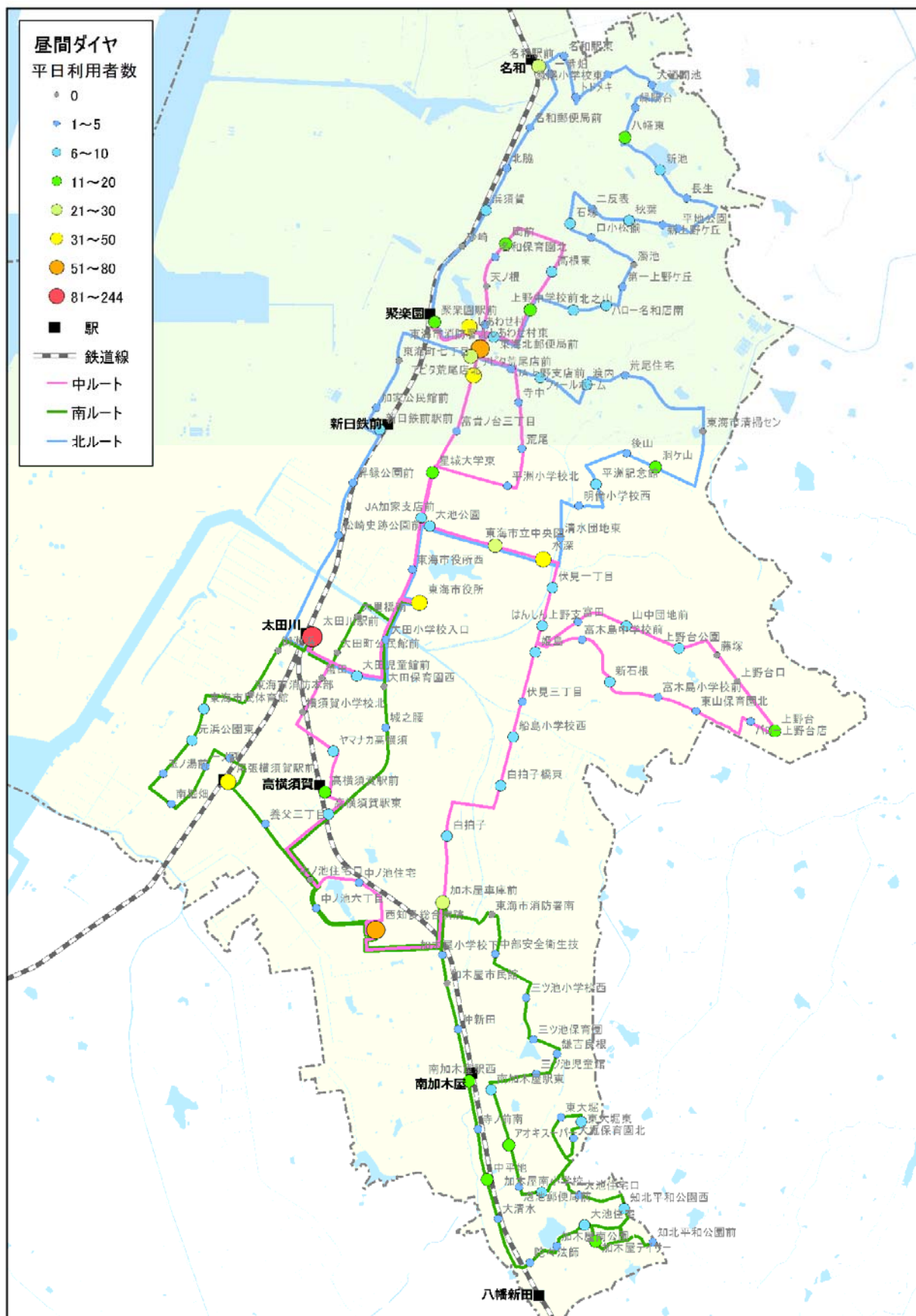
- ・東海市循環バスは、3ルートの中では中ルートの利用者がやや多い。
- ・知多バスは上野台線の利用者が多い。
- ・休日の利用は平日の約45%であった。

		9月18日	9月27日	合計
		日曜	火曜	
東海市 循環バス	北ルート系統1	80	156	236
	北ルート系統2	67	151	218
	中ルート系統3	71	176	247
	中ルート系統4	72	152	224
	南ルート系統5	41	121	162
	南ルート系統6	45	144	189
	合計	376	900	1,276
知多バス	上野台線	244	391	635
	横須賀線	32	160	192
	合計	276	551	827
全体合計		652	1,451	2,103



② 東海市循環バス：昼間ダイヤ（平日）

- ・ 鉄道との接続駅である太田川駅前、聚楽園駅、尾張横須賀駅、名和駅で利用が多く、その他では西知多総合病院、アピタ荒尾店前、東海市消防署北出張所、しあわせ村、東海市役所、水深で利用の多さが目立つ。



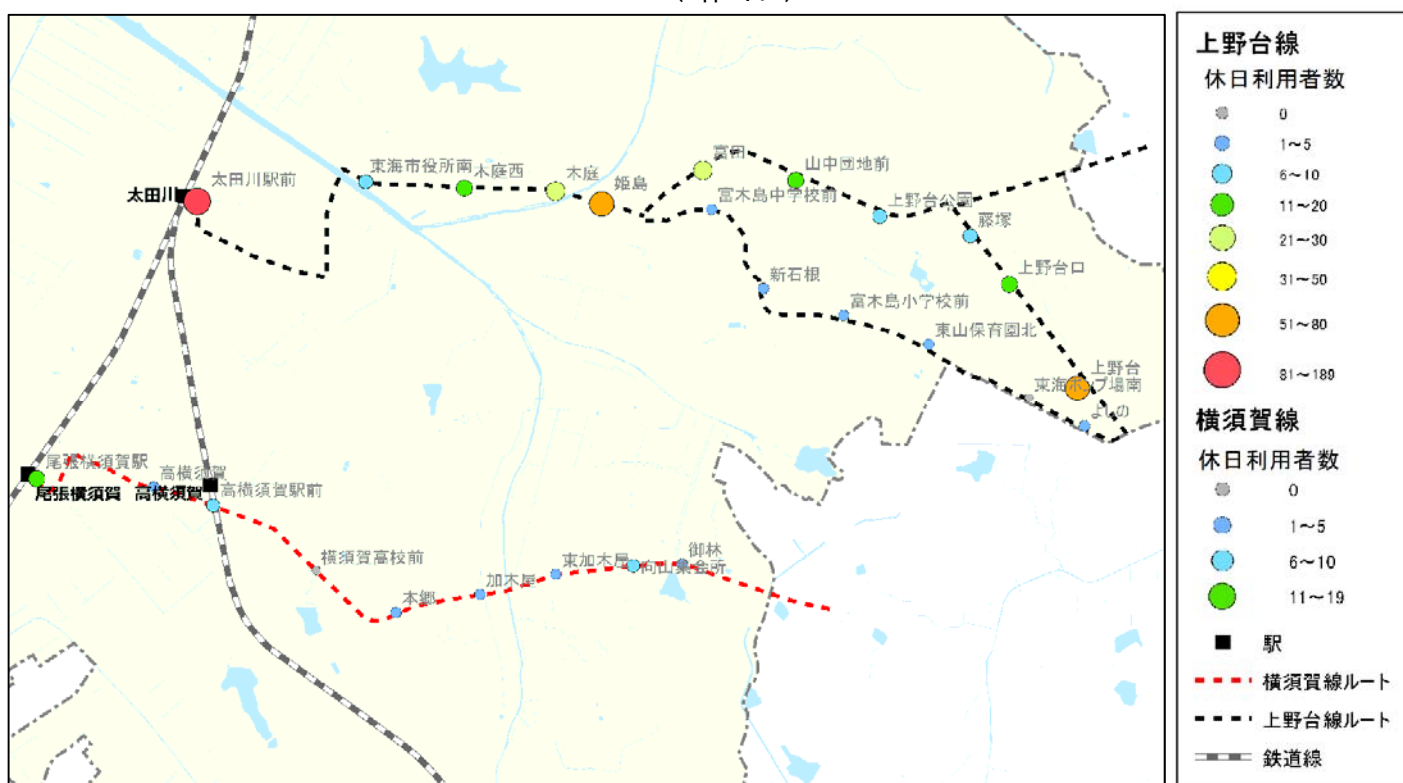
③ 知多バス

- ・上野台線では、平日は鉄道接続駅である太田川駅前で利用が多く、その他では姫島、上野台で利用の多さが目立つ。休日は全体的に利用者が少なくなるものの、利用者が多いバス停は平日と同じ傾向にある。
- ・横須賀線では、平日は鉄道接続駅である尾張横須賀駅、高横須賀駅前で利用が多く、その他では横須賀高校前で利用の多さが目立つ。休日は全体的に利用者が少なくなる。

(平日)



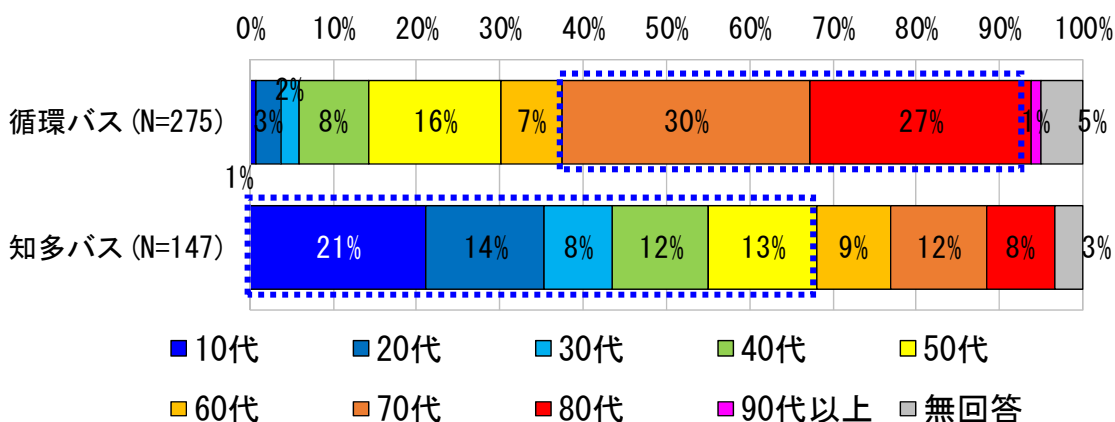
(休日)



4. バス利用者アンケート【C】（9月18日、9月27日配布）

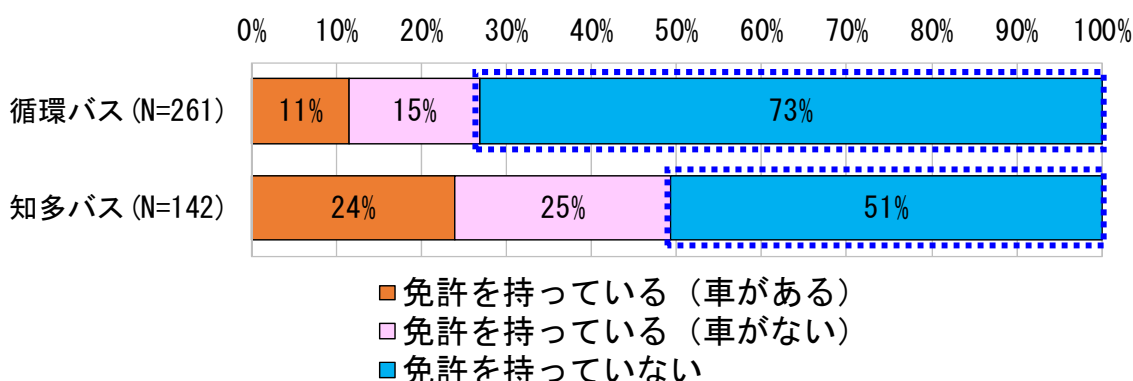
（1）年齢構成

- ・循環バスは70歳代■～80歳代■の高齢者層の回答が約6割を占め、知多バスは10歳代■～50歳代■の回答が約7割を占めている。



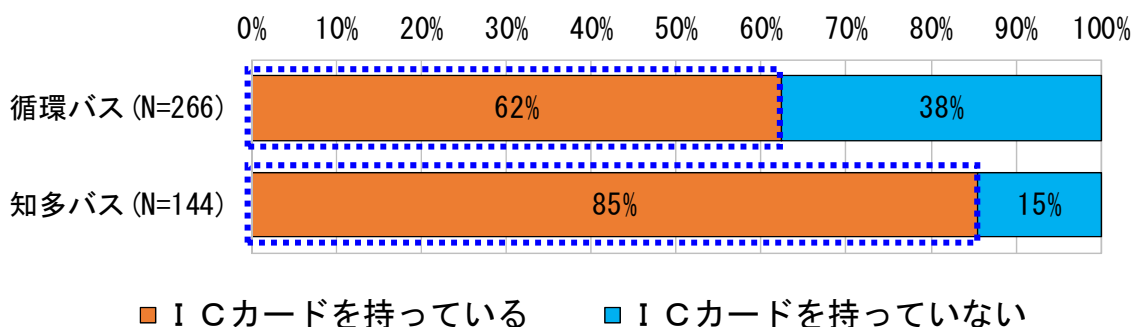
（2）運転免許証の保有状況（無回答除く）

- ・循環バスは7割以上が運転免許を持っていない方■の利用であり、知多バスでは約5割が運転免許を持っていない方■の利用となっている。



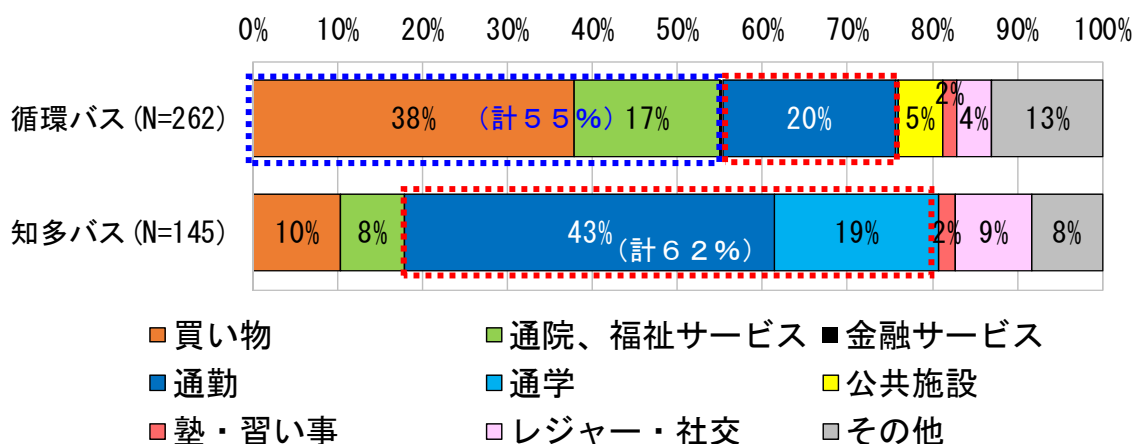
（3）ICカードの保有状況（無回答除く）

- ・循環バスは約6割の方がICカードを保有■し、知多バスでは約8割以上の方がICカードを保有■している。



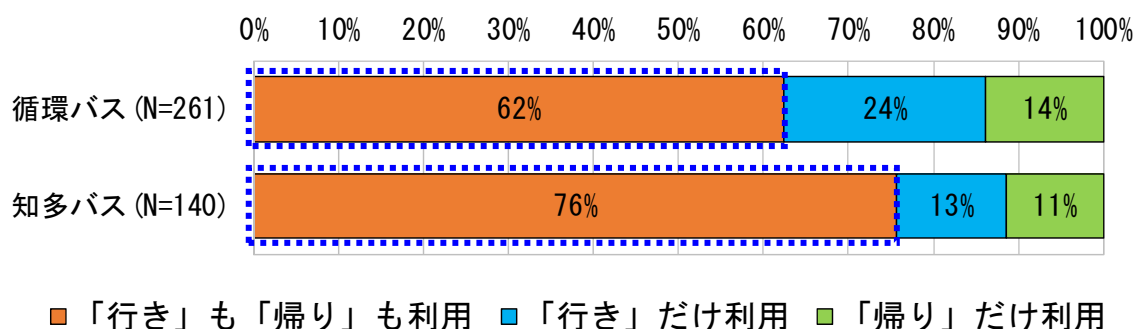
(4) バスの主な利用目的（無回答除く）

・循環バスは「買い物■」「通院・福祉サービス■」で 55%を占め、「通勤■」利用も 20%を占める。知多バスでは「通勤■」「通学■」で 62%を占めている。



(5) 往復の利用状況（無回答除く）

・循環バスは「行き」も「帰り」も利用■が 62%を占め、知多バスでは「行き」も「帰り」も利用■が 76%を占めている。

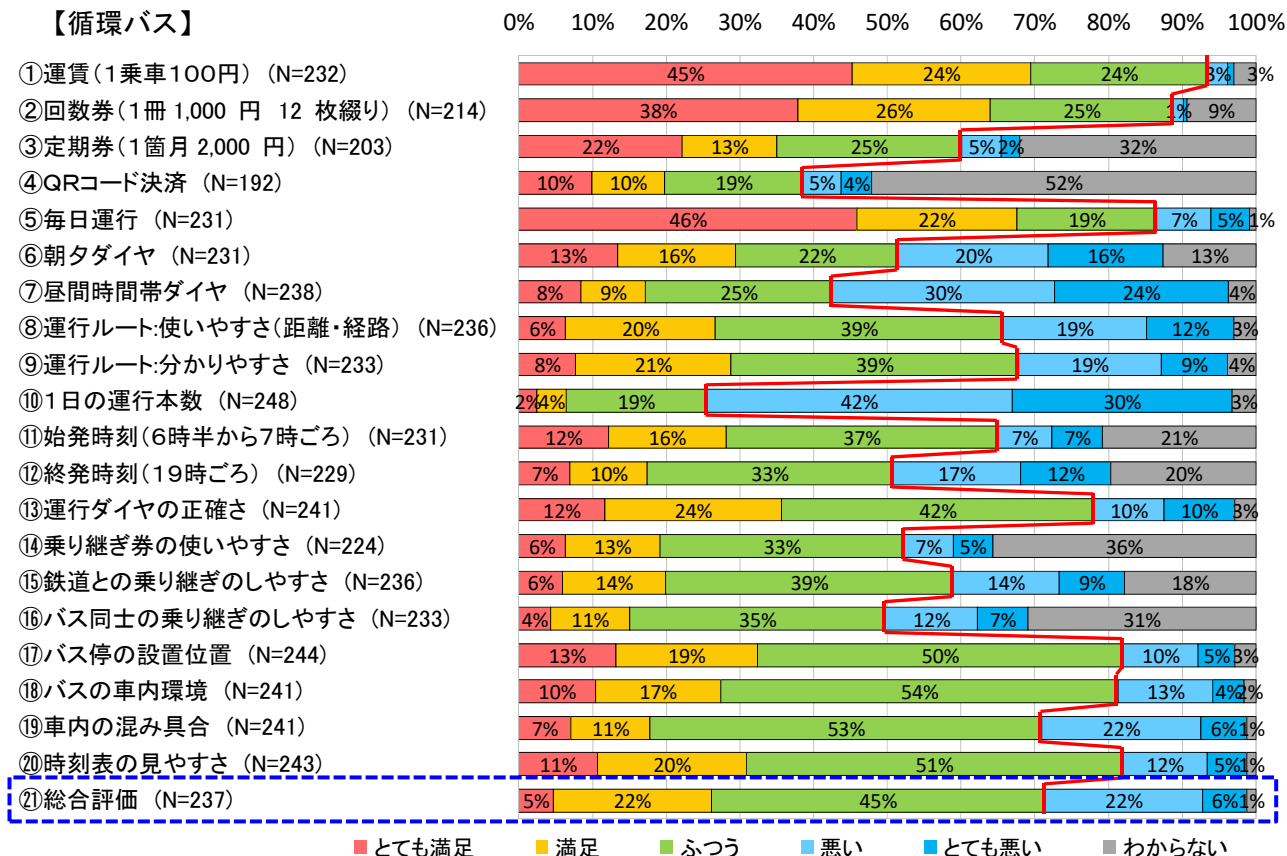


(6) 利用満足度

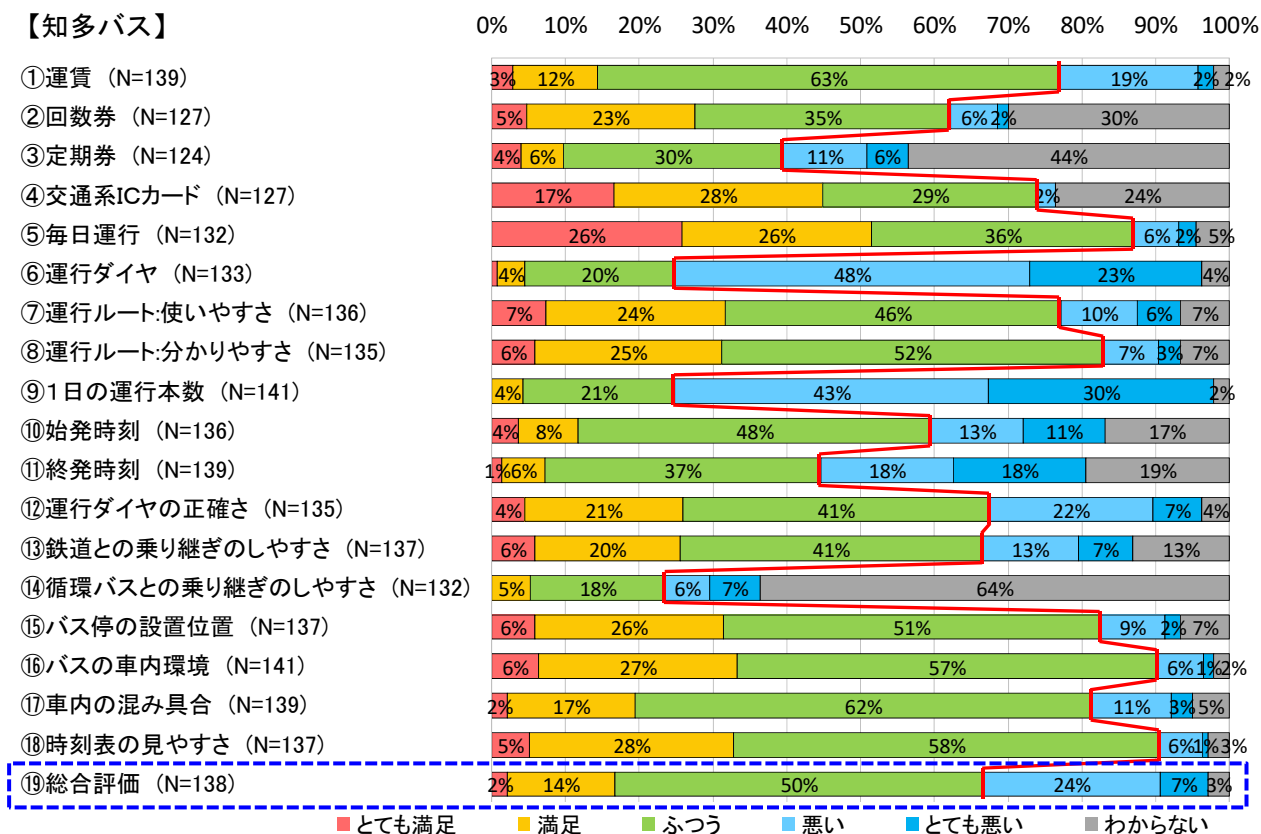
・②総合評価における満足度は、「循環バス」、「知多バス」とともに「とても満足■」「満足■」「ふつう■」を合わせた割合が7割近くを占めている。

・しかし、「循環バス」においては⑦昼間時間帯ダイヤ、⑩1日の運行本数、「知多バス」においても⑥運行ダイヤ、⑨1日の運行本数、⑪終発時刻において、満足度が低くなっている。

【循環バス】

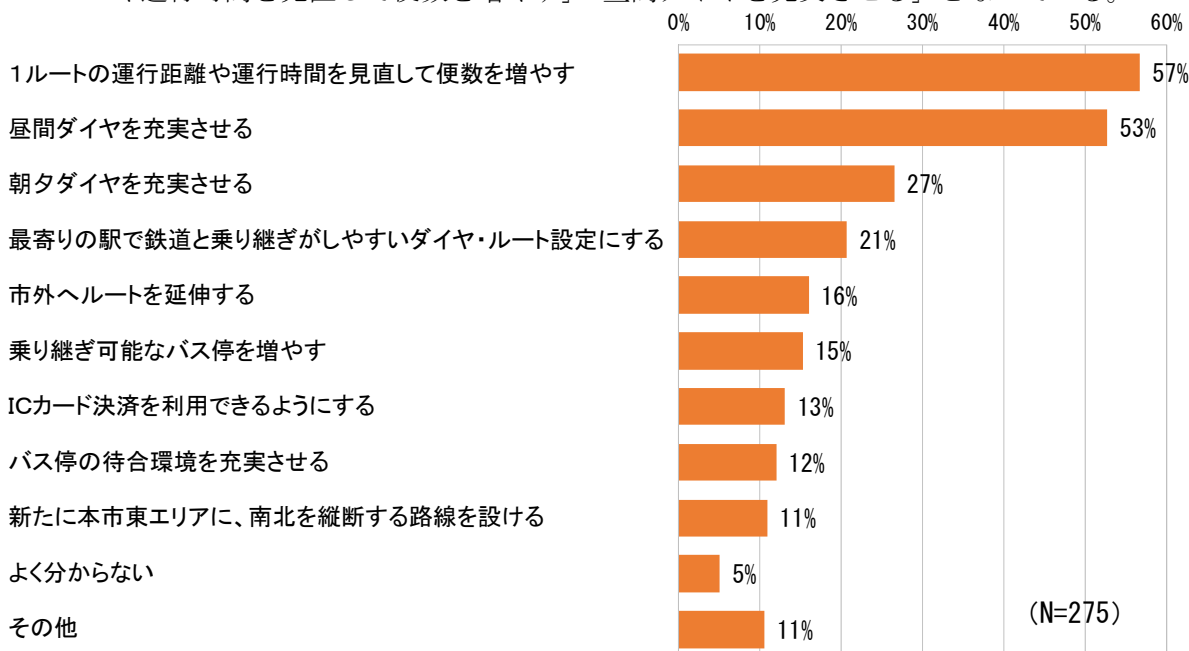


【知多バス】



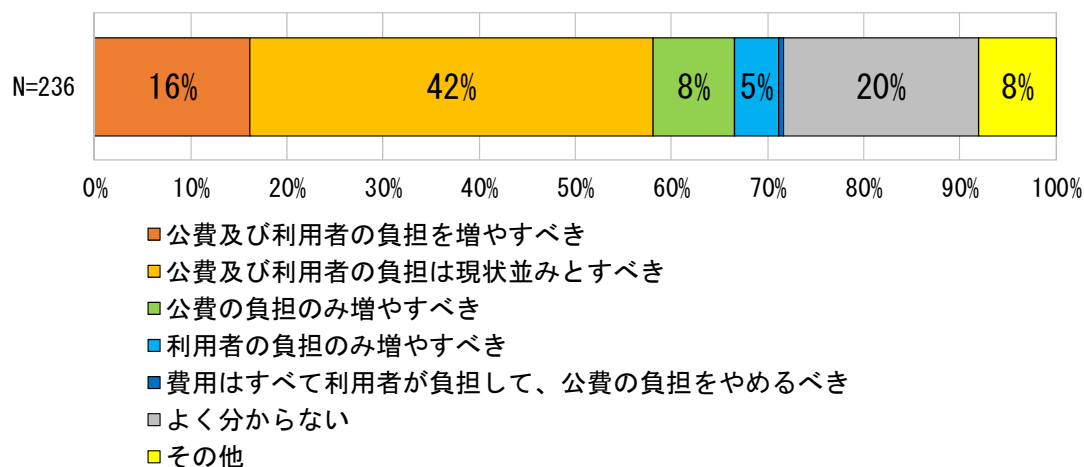
(7) バスを利用しやすくするために必要と思う工夫（循環バスのみ）

・バスを利用しやすくするために必要と思う工夫で割合が高い項目は、「1ルートの運行距離や運行時間を見直して便数を増やす」「昼間ダイヤを充実させる」となっている。



(8) 東海市循環バスのサービス向上のための公費のあり方（循環バスのみ：無回答除く）

・「公費及び利用者の負担は現状並みとすべき」の割合が最も高くなっている。



(9) 今後の東海市循環バスの運行について（循環バスのみ）

・「現状のルート（北・中・南）編成のままが良い」の割合が最も高く、次いで「中規模循環（5地区程度）それぞれで運行するルート編成にする」の割合が高くなっている。

